

11月は販売促進・食育月間

～ 「粒すけ」を紹介・食べ物を大切にしましょう ～

千葉農業事務所企画振興課

令和2年11月10日 発

県は、ダイコンやサツマイモといった秋冬野菜など、旬の県産農林水産物が豊富に出回る11月を「ちばと一緒に！販売促進月間」及び「ちばを食べよう！ちばの食育月間」と位置づけ、販売促進活動や食育の取組を展開しています。

そこで、千葉農業事務所は、11月3日（火・祝）に、ゼットエー武道場（市原市）で開催されたスポーツイベントの参加者に対して、県が13年かけて開発し、今年デビューしたお米の新品種「粒すけ」を紹介しました。

一方、日本では「食品ロス」（食べられるのに捨てられている食品）が、年間600万トン以上発生しており、国民1人当たりに換算すると、毎日お茶碗1杯分を捨てている計算になります。（平成29年度推計）

そこで、「粒すけ」の紹介と併せて、食品ロスの約半分が家庭から発生していること、また、その削減方法について説明させていただき、参加者の皆さんは熱心に聞いてくださいました。

